



和と力

7月号

令和8年(2026年) 7月1日

宝塚市立売布小学校

売布小学校
ホームページ



校長 安藤 いずみ

今年の6月は昨年ほど気温の高い日は多くありませんでしたが、7月以降は気温が上昇し、厳しい暑さが予想されています。急に暑くなり、まだ暑さに慣れていない時期は、特に注意が必要です。学校でも熱中症に配慮しながら、学校での活動を実施しています。ご家庭でもお声掛けいただき、登下校時の帽子の着用、お茶を多めに持たせていただくなど、ご協力をいただければと思います。

さて、6月12日に開幕したサッカーのワールドカップでは、日本を含め、世界中のファンが熱狂的に応援する様子が報じられています。このように人を惹きつけるのは、スポーツそのものの面白さに加えて、チームや選手たちがどのような道のりでそこに至ったかという、普段は表に出ない背景にスポットが当たるからではないかと感じます。

日本は決勝トーナメントに進出し、強豪ブラジルに先制するなど互角に戦いましたが、最後に逆転負けを喫して、残念ながら今大会での挑戦は終わってしまいました。AI が世の中に大きな影響を与えている昨今の状況ですが、AI のようにスマートではない、時に我慢を強いられる生の姿であることも魅力の背景にあるのかもしれません。

普段の生活でも、常にうまくいくことばかりではありません。努力しても結果が伴うとは限りません。でも、今回、サッカーの日本代表がまた次に向かって前を向くように、子どもたちも努力を重ねながら少しずつ前進し、成長してほしいと思います。

さて、売布小学校では、国語科の学習と関連付けながら、子どもたちがより読書に親しめるよう、春と秋の年2回の読書週間を設けています。今年の春は、6月15日～26日までの2週間でした。ハッピーライブラリー(図書委員会)を中心に、子どもたちが読書を楽しんでもらえるように様々な企画を実施しました。また、廊下には子どもたちが自分のおすすめの本について、一生懸命絵を描き、文章を考えた紹介を展示しています。懇談の折などにご覧いただけると幸いです。

読書によって得られる効果は、よく知られていることですが、最近、タイパ(タイムパフォーマンス)を重視し、要約を読む傾向があると聞きます。結果だけを求めるなら、そういう方法もあるかもしれませんが、「自分で考える」という力は要約では身に付けることができません。読書は、「自分と向き合う時間」ではないかと思います。自分の力で読書の世界に入り込むことができる、そんな力をつけさせたいと思います。夏休みも近づいています。ご家庭でも、読書について話題に触れていただくと子どもたちの興味も増すことと思います。

虫よけリングについて

夏季を迎え、虫刺され対策として「虫よけリング」についてのご相談をいただいております。本校では、児童の安全面および学習環境の確保の観点から、虫よけリングは他の熱中症対策グッズと同様に登下校中に限って着用可といたします。校内では、集中して学習に取り組むことや、友だち同士のトラブル防止のため、着用はご遠慮ください。登校後は各自で外し、ランドセル等に保管するようご家庭でもお声かけをお願いいたします。引き続き、安全で安心な学校生活の実現にご理解とご協力をお願い申し上げます。